**平成26年度　施設運営の状況**

１　施設名

富山県民生涯学習カレッジ

２　施設所在地

富山県民生涯学習カレッジ本部　富山市舟橋北町7番１号　　　富山県教育文化会館内

〃　　　新川地区センター　魚津市木下新１４４　　　　　新川みどり野高校内

〃　　　富山地区センター　富山市神通町２－１２－２０　雄峰高校内

〃　　　高岡地区センター　高岡市末広町１－７　　　　　ウイングウイング高岡内

〃　　　砺波地区センター　小矢部市清水９５－１　　　　となみ野高校内

３　施設設置年度

富山県民生涯学習カレッジ本部は、昭和６３年１０月に開学

新川及び砺波地区センターは平成１３年１月、高岡地区センターは平成１６年１月、富山地区センターは２５年１月開設

４　設置目的

県民に自主的な生涯学習の機会と場所を提供し、もって生涯学習の振興に資することを目的とする。

５　事業概要

富山県民生涯学習カレッジは、本県の生涯学習推進の中核的機関として、また、県内４地区の広域学習サービス圏の拠点として、次の事業を展開している。

1. 学習情報の収集・提供　　　　とやま学遊ネットで各種生涯学習情報を提供し、学習相談

　　　　　　　　　　　　　　に対応

1. 多彩な学習機会の提供　　　　夏季講座、自遊塾、ふるさと発見講座、共学講座、

　　　　　　　　　　　　　　教養講座、高志の国文学専門講座など各種講座を開設

1. 映像による学習支援　　　　　映像制作支援、映像ソフト貸出、上映会等の実施
2. 学習交流や成果発表の支援　　学習団体の交流支援や発表の場を開設するなどの支援
3. 生涯学習についての調査・研究

６　利用者数の状況

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　　　分 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 |
| 受講者数 | 9,452 | 10,480 | 12,380 | 9,702 | 11,289 | 10,531 |
| 映像ソフト視聴者数 | 48,256 | 55,141 | 62,244 | 54,921 | 64,691 | 57,602 |
| 学遊ネット検索数 | 566,617 | 485,457 | 571,785 | 753,096 | 754,753 | 777,779 |

７　評価項目

（１）利用者数の増減に対する評価

1. 各種講座の受講者数は、平成24年度にやや減少したものの、１万人前後で推移している。
2. 平成22年3月に「とやまデジタル映像ライブラリー」の再開発や機器更新を行った。それに伴い、貸出映像ソフトの視聴者数は、県民の視聴ニーズをより踏まえたソフト購入や再生機器への対応に努めたこともあって、増加に転じた。
3. 富山県生涯学習情報提供ネットワークシステム「とやま学遊ネット」は、毎年度、計画的に施設や指導者・ボランティア、団体等の情報の更新、充実に努めている。「とやま公民館学遊ネット」を稼働させたことに伴い、アクセス件数は、飛躍的に増加した。

（２）サービス向上に向けた取組み

映像センターでは、県民にあらためてふるさとを見つめ、よさを知ってもらうことを目的として、定期的にふるさとの映像の上映会（わくわく土曜シアター等）を教育文化会館と各地区センターで開催している。また、県民カレッジのメールマガジンで新着ビデオの紹介も行っている。

（３）利用促進に向けた取組み

地域住民に身近な学習の場である公民館の情報を、広く県民が利用できるように平成２４年３月に「とやま公民館学遊ネット」の開設でシステムの更新や整備を行った。また、公民館関係者向けにサイト管理研修会やふるさと映像の制作指導を行った。

（４）利用者のニーズ把握や苦情への対応

1. 利用者の評価・ニーズの把握

各講座の開催時にアンケートを実施するとともに、終了時には講座の評価や感想、ニーズ

等の把握に努めている。

各地区センターで開催している「ふるさと発見講座」は、いずれも「大変良い」及び「良

い」の評価が高かった。また、今後のテーマや講師等に関するニーズや近々の必要性を把握し、次回に反映するように努めている。

1. 利用者の要望・苦情との対応

教育文化会館で開催する講座では、駐車場の数が少なく、停める場所がないという苦情が

ある。公共交通機関の利用をお願いしたり、周辺の駐車場を紹介したりして対応している。

（５）個人情報保護の取組み

カレッジ単位の認定・累積を希望していない受講者の個人情報は、年度末に消去し、不要な個人情報が累積されないようにしている。

（６）関係団体との関係

富山県生涯学習団体協議会や県民カレッジ友の会「雷鳥会」等と連携し、より県民のニーズに即した講座内容の充実を図るとともに、生涯学習活動の一層の拡充に努めている。

（７）施設・設備の維持管理

学遊ネットシステムについて、隔月に保守点検を実施しているほか、映像センターの設備機器についても専門業者に委託して保守点検を行っている。

（８）危機管理・安全管理などの取組み

1. 屋外で活動する講座については、天候悪化が予想される場合には実施しないように周知している。
2. 教育文化会館における年２回の防災訓練には、職員が自衛消防隊員として参加している。
3. 非常時の緊急連絡網を作成している。

８　今後の課題

高志の国文学館等の近隣生涯学習施設との連携・協力のあり方や、本部と県内4つの地区センターとの役割分担や効率的な運用などを、より県民のニーズを把握した上で、検討し実行していく必要がある。